

21・老福連 第8回職員研究交流集会in大阪 広



通天閣

内部資料

速報 2号



じっくり語ろう、ほんまもんの福祉

～持ちよろう援助実践 確かめよう自信と誇り とり戻 そう公的福祉を

全国 96 施設から 497 名が大阪へ ☆

21老福連第8回職員研究交流集会1日目は大阪ホテルコスモスクエア国際交流センターで行われました。

オープニングは障害児施設：豊里学園による和太鼓『鼓粹』（K O I K I）演奏でパワーいっぱい飾られました。



開会の挨拶：中村公三実行委員長



本来の社会福祉がなくなってしまうのではという危機感を持つ今、“ほんまもんの福祉”を参加者皆で大いに語り合い交流しましょう！

21・老福連からの基調報告：事務局長 廣末 利弥



社会保障・社会福祉の拡充が求められる、極めて重要な時期。低賃金・将来への不安、寄り添ったり見守ったりが軽視されている今、その根底から変えて行きましょう。利用者の豊かで希望に溢れる福祉職場を築くために、学び、交流し、少し息抜きをしましょう。



記念公演：『福祉ことどかない声』—記者の目から見た、福祉—

講師 向井 康氏（京都新聞社 社会報道局市民担当部長）



声なき声、スタート台に立つことのできない人達の声、記者とともに共有したいと考えます。望み通りに生きる権利、それを支えることが福祉であり、“福祉”は誰にでもできることです。その人の限界を周囲が勝手に判断しないことが重要です。



☆ 21・老福連 in 大阪マスコットキャラクターを考えてくれたのは、老人

ホームこがねの里の菊地実季さんです！そしてそのマスコットの人形を、こがねの里のボランティアの方が手作りして下さいました！

人形達は受付等にいますのでぜひ見に来て下さい！



🌟 **リレー報告「わたしたちの願い、今つたえたいこと」** 🌟

4つの分野の当事者・家族・職員からあついメッセージが贈られました。

①児童：児童養護施設海の子学園池島寮児童指導員 古谷 拓郎さん

虐待を受けている子どもが約8割。発達の遅れも見られるが、「大丈夫」「安心できる場所」を目標に働いている。「子ども達に何を伝えられるのだろうか?」と、救えなかった子ども達がいる中で怯えながら働いている。喜びを分かち合える事がやりがい。



②障がい者：NPO法人箕面市障害者の生活と労働推進協議会 ピアカウンセラー 今井 雅子さん

自立支援制度は、一人ひとりの生活に合ったサービスや負担があるべきだが、自己決定、自己責任を理由に、画一的に人の生活を枠にはめる事に疑問を感じている。周囲の援助を受けて、これからも今の生活を続けていきたいと心から願っています。



③高齢者：認知症の人と家族の会 京都府支部世話人 原田 眞美さん

認知症の家族を介護していく上では家族も本人と同様に苦しんでいます。乗り越えていくためには皆さんの協力が必要ですのでどうかこの仕事をやめないで下さい。



④生活保護： 全大阪生活と健康を守る会連合会事務局長 大口 耕吉朗さん

生活保護受給者は①食費②入浴③交際費を削って生活している。それにより孤立し“人間性”を失っていく。どんな人でも生活保護は受けられるものであると、私達は発信していきます



今夜は恒例となった交流会！



会場はホテル大阪ベイタワー。“2日目の分科会が、より充実した場となるよう思いきり交流が図れ、一体感が感じられる交流会”を目指すプログラム最初は、実行委員施設の若手職員らを中心に練習を重ねてきた「オープニングダンス」南中ソーラン！踊れる人は一緒に踊って盛り上がりましょう！「演芸コンクールIN大阪」は優勝者に豪華商品が・・・！もちろん、全国の参加者から持ち寄られた「地酒」にも乞うご期待！いっぱい飲んでいろいろな地域のおいしいどころを味わって下さい。「交流」が目標の“交流会”です！いろいろな施設の人との交流を楽しみましょう！